

屋久島生態系モニタリング

屋久島西部植生垂直分布調査 (平成16年度調査)

・国割岳西側斜面(標高200m地点)

プロットは、湯泊林道沿いの広葉樹二次林内に設定した。付近は、沢部右岸の緩～急斜面である。プロットの南側は、いくつかの岩を経て小尾根になっている。小沢を挟んだ林道沿いには水道施設がある。

プロットの階層別植生は、高木層では、全体として植被率が低くなっている。おもな出現樹種は、シマサルズベリ・ヤクシマオナガカエデ・エゴノキ・バリバリノキで、個体数は少ないがハマセンダン・フカノキ・ヤクシマカラスザンショウも混生する。

亜高木層では、ハドノキが最も多く、ついでモクタチバナ・イヌヒワ・アオガシの個体数が

低木層では、モクタチバナが最も多いがバリバリノキ・ヒサカキ・ハドノキも多い。植被率は約10%と低いものの出現種数は多い。(24種)

草層では、カツモイデ・ヒロハノギリシダ・ホウビシダ・ハツカンダ・リュウビシダ・ツルホラゴケ・ヌカホシクリハラシなど、シダ植物が多い。シマイズセンリウ・ヤクシマアジサイ・ルミノキ・フクウカヅラ・ヒメアリドウシも個体数が多く植被率が高い。

山浦二で島りがつら楠案の久○家推
 口イ岳日ある民が川内現島月進
 をト登目と昔いと川地状の島月立
 出の山はと山から参りて視等森二松
 発灯に九感と山話をの察を林の二議
 しを臨州心の現をの黒のの二和
 て頼まのさ神在の歴の歴史四平
 りれ最の聖なれと史と史日一設
 道に、高てな至と現区画やの行
 中淀へ峰い催る、現区画やの行
 の川ッ宮たしま岳状長日長有間が
 変登ド之。事で参にかはの林一
 作



奥岳から遠望する立松氏

その化に富む植生状況と岳肌や
 ておのシルエツトにも見入っ
 の植物や江戸時代から今日

立松和平氏屋久島岳参りの歴史と国有林を視察

屋久島の森林の歴史と再生と現状を探索

業「長たてな林大のた祭「化て屋
 にスガ、表る業き推。第セン熊久平
 昨ギ来坂彰敬功く進。の五毛町成
 年人實田が意労寄やの中盛四流健一
 度工祝屋なと者与地中回大域森九
 か林祝久さ感のさ域で熊催毛林年
 ら材辞島れ謝方れ木「催主・公九
 取島にお森まの々て材地催地・園月
 り外い管たをにら興地れ区に業二
 ん荷て理。込深れ等建し植区に活一
 で事、署まめ甚たにーし樹り性日

みどりの祭典

熊毛地区植樹祭が開催



記念植樹を行う出席者

て取りお
 、組り、
 屋と今
 久し後
 島の民
 の有
 人工林
 のを
 木含
 材め
 った



岳参りの歴史を聴き入る立松氏

た野のと現久行やと山たれに等ま
 だ事パと状島はか言頂。感対に
 け業トもにのの時な葉は午動して
 たに口につい森間霧をは午前動
 と思つ、い、の掛を交晴天中さ
 う。ル当てご歴の掛気わ！に熱
 。も動・覧史てあれ、さく、の、心
 理等セい、実っ、の、の、子に
 解国ンた再際た終の登宮でをの
 を有タだ生の。始山宮之取のの
 い林！く、屋一和客浦っから明

た声行席て力きののきをの
 。高者いして流る島価をの
 ら、全きてい通全内値の内
 か植員たこのの足新林高
 に樹にいのの掛し所まり
 宣言祭よ。取で掛、かい有、
 さ口一記とを皆り屋者、
 れ念換成さを久に販
 むガ植撈功ん作島還売
 ま樹しさとつの元収
 しがを出せ協て材で益



枝打体験をする生徒

祈験と事おが験感大たし
 っがが故の礼とにし変、
 っ少でものうな代とまた、
 帰しき言ごり代表面白さ、
 路でも無葉がいたからさ、
 につ役供事ありました、
 き立達終りました、
 まつにす了ました、
 ことこのるた。あな業の
 を経こ。のり経体の

森林教室及び体験林業を実施

屋久島の植物



ゲンショウコ
 (ふうろうそう科)

のるめも点c夏は年草低
 証こばあ々々程から対草む地
 拠と、るとつ秋の生。らら地
 か薬)和け紅にで、茎は普通
 、が名る。は。毛に通に見
 そずは。の。紫に三、毛覆
 の煎花五の、色、裂、覆
 むらじは弁の、色、裂、覆
 むらじは弁の、色、裂、覆
 むらじは弁の、色、裂、覆

屋久島森林生態系保護地域などにおける学術調査等の入林状況

1 動物関係

(平成19年4月1日から平成19年11月1日受付分)

入林代表者氏名	入林目的	入林箇所	所属	備考
寺川 眞理	ヤクシマザルによるヤマモモの種子散布の研究のため	2	広島大学大学院国際協力研究科	
大谷 達也	ヤクシマザルの採食行動およびアコウの結実状況の観察	2・3・4	森林総合研究所九州支所 森林生態系研究グループ	
ハフマン・マイケル	ヤクシマザルの行動生態学的調査	1~4	京都大学霊長類研究所	
鈴木 真理子	西部林道周辺に生息するヤクシマザルの行動学的調査	1~4	京都大学霊長類研究所	
幸田 良介	樹木毎木調査・ヤクシカ密度推定	1~4・54・70・71・204・205・249・270	京大大学生態学研究センター	
早川 祥子	野生ニホンザルの生態調査	1~4	京都大学霊長類研究所	
マッキントッシュ・アンソニー・ジェームス・ジョナサン	ヤクシマザルの行動生態学的調査	1~4	京都大学霊長類研究所	
寺田 千里	ヤクシカ調査研究のため。	西部林道・小瀬田林道	北海道大学大学院環境科学院	
茂田 良光	ヤクシマキビタキの亜種レベルの検討	屋久町一円	山階鳥類研究所	
山極 寿一・Alisa Chalmers	サルの糞採集(サルのホルモン測定のため)	1・2・3	京都大学大学院理学研究科	
揚妻 直樹	学術研究:ヤクシカが森林植生に与える影響を明らかにする	1-5・9-15・49-58・69-71・75	北海道大学 苫小牧研究林	
西川 眞理	ヤクシマザルの採食樹選択の調査	2	京都大学大学院理学研究科	
半谷 吾郎	ニホンザルの調査	6~10・12	京都大学 霊長類研究所	
ハフマン・マイケル、相田 佳奈子	ヤクシマザルの行動生態学的調査	1~4	京都大学 霊長類研究所	
河合 潮	生物調査(ヤクモリ・ミヤマモリの分布調査)	35・247~249・255・272・275	京都大学動物系統学研究室	

2 植物関係

入林代表者氏名	入林目的	入林箇所	所属	備考
塚谷 裕一	屋久島における植物の特殊化について、その形態上の特徴と、その遺伝的背景の解析を行うため	65・87・90・101	東京大学大学院理学系研究科東京大学理学部生物科学科 学部4年生	
高嶋 敦史	14林班...スギ伐根の測定、86林班...樹冠調査の下見	14・86	琉球大学農学部	
手塚 賢至	ヤクタネゴヨウ調査	2~4,6,10,47,48,66	鹿児島県委嘱 希少野生動物植物保護推進員	
相場 慎一郎	森林利用と植物多様性の関係の調査	34・35・74・205・224・225・226・244・245・246・257・258	鹿児島大学 理学部	
高嶋 敦史	ヤクスギ樹冠調査	86	琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育科学センター	
半谷 吾郎	果実量調査	9	京都大学 霊長類研究所	
吉田 茂二郎	ヤクスギ天然林の群集動態の解析(年輪コアサンプル採取)	80・86・214	九州大学 森林計画学研究室	
新山 馨	ヤクスギ永久プロットの毎木調査・ハリギリの葉の採取	86	森林総合研究所 植生管理研究室	
甲山 隆司	照葉樹林の実生、稚樹の形態生長調査	11・14・39・40・43・44・46・47	北海道大学大学院地球環境科学研究院	
黒田 有寿茂	屋久島スギ植林の生物多様性に関する学術研究のため	218・224・239・240・241	兵庫県大学 自然・環境科学研究所	

3 その他

入林代表者氏名	入林目的	入林箇所	所属	備考
相場 慎一郎	屋久島の天然林の純一次生産推定	2・4・9・14・34・35・76・81・204・258	鹿児島大学 理学部	
横田 恭平	水質調査	島内一円の河川	和歌山大学	
武田 義明	学生実習のため	西部林道・荒川登山口～縄文杉・1・2・3・204	神戸大学大学院人間発達環境学研究所・発達科学部	
古江 広治	酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査	3・9	環境省地球環境局 環境保全対策課	
村上 哲明	第9回屋久島フィールドワーク講座野外実習のため(屋久島の固有植物コース)	49-57,71,72,80-82,86,87,101,213-215,249-252,257,258	首都大学東京牧野標本館	
岡部 宏秋	菌根菌調査	233~237	森林総合研究所	
荒田 洋一	変性菌の撮影	86・212	日本樹木医会	
出口 博則	屋久島における藓苔類の多様性とその分布を明らかにすることを目的とする。	愛子岳歩道・楠川歩道・外9	広島大学大学院理学研究科生物科学専攻	
矢原 徹一	ツバキシギゾウムシによるヤブツバキ種子の食害の島内変異の解析	1-40・43・46・49・65・68・72・74・92・95・96・98・112	九州大学理学研究院生物科学部門	
木村 勝彦	天文の森試験地における倒木調査	86	福島大学 共生システム理工学類	
大塚 忠巳	野外調査実習	2~4・10~11	大分県立大分舞鶴高等学校	